

2011 ティップランエギング実釣会 in FP 志摩



「おっ! ええサイズや〜っ!!」取り込みはイチバンエイトグループのスタッフがフォロー。



ティップラン初体験という参加者もしっかりと釣果を得ることができた。



フィッシングエイト本店の吉喜村主任。



ダブル、トリプルヒットも当たり前というのがティップランの魅力のひとつだ。



同じくエイト本店スタッフの吉本さん。イカシミまみれになっていた。

場所
三重県
志摩沖

主催：イチバンエイトグループ 協賛：バレーヒル・ハリミツ・マルキュー

10月5日、イチバンエイトグループ主催のティップラン講習会「2011 ティップランエギング実釣会 in FP志摩」が三重県志摩市のルアー船、フィッシングポイント志摩を利用して志摩沖で開催された。

当日は未明から大雨が降り続くバッドコンディション。ただ、出船時間の6時過ぎには雨も上がり、参加者6名とスタッフを乗せた船は低く垂れ込めた雲に若干の不安を覚えながらも出船した。

当初は志摩大島、小島付近のポイントに船をつけようとしたが南寄りの強風でウネリが強く、船長の判断で風裏となる御座岬の北側、水深15〜20メートルへと移動した。

「水深17メートル、5回ぐらいシャクつたらステイさせてアタリを見て下さい。まずは底をしっかりと取るように!!」という船長のアナウンスで当日の釣りがスタート。その後、8時過ぎから雨足が強くなつたが、参加者は何とかアオリイカをキャッチしようとして一生懸命餌木をシヤクする。波と風で船が安定しない状況の中、船長やイチバンエイトスタッフのていねいな指導によつて徐々にコツをつかみ始める参加者たちほどなくして数名が秋イカらしくない? グッドサイズを見事にキャッチした。

取材協力



FP志摩 (☎090-8952-6646 http://blog.livedoor.jp/fp_shima/)。



サポートとして参加したバレーヒルの大西正人氏もグッドサイズをゲット。



女性アングラーも参加。雨の中でひたすらイカを追い求めた。

その後、10時を回って南風がおさまってきたところで志摩沖へとポイントを移動。本命の志摩大島、小島周辺を狙うことになった。

ときおり強いウネリが入るものの、風と潮が同じ方向なので波が低く、朝イチよりは幾分釣りやすい状況である。そして、11時半過ぎからコンスタントにイカが上がりだし、胴長25センチクラスの良型も姿を見せて船上はヒートアップ。結果、参加者全員が釣果を得ることができ、実釣会は午後2時に笑顔の納竿となった。